

投稿を募集しています

テーマ「阪神・淡路大震災 30年に思う」

兵庫保険医新聞では今年も新年特集号(2025年1月5日)をはじめ、特集企画とし、多くの会員からの投稿を募ることにいたしました。

特に来年は阪神・淡路大震災30年という節目の年となり、多くの先生方から震災30年にあたっての思いを寄せていただきたいと考えており、ご多忙とは存じますが、先生にもぜひご執筆いただきたくお願い申し上げる次第です。

ご寄稿をお待ちしております。

字数 600字程度

締切 1月10日(金)協会必着(募集期間延長)

ご投稿は [E-mail] wuyuxi@doc-net.or.jp

[FAX] 078-393-1820

[郵便] 〒650-0024

神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階兵庫保険医協会
新聞部まで

兵庫県保険医協会

神戸支部ニュース

382号

2024年12月15日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

クリニックのコミュニケーション力UP講座

大きく、響く、パンチのある声を出しましょう



田村アナウンサー(左)が発声のポイントを紹介し、参加者が立ちながら練習した

神戸支部は、11月9日に協会会議室で研究会「クリニックのコミュニケーション力UP講座」を開催。アナウンサーの田村正浩氏を講師に、6人が参加した。

田村アナウンサーは「しゃべりコミュニケーションのポイントは内容と伝達。相手に的確に伝えるため、声をしっかり出すことと言葉をはっきり発音することが重要だ」と参加者に紹介した。

腹式呼吸は響く声が出る、長時間安定した声が出せるとのメリットがあるため、お腹を使って声を出すのは基本であると、氏は声のメカニズムと腹式呼吸を説明しながら、発声と発音の基礎練習が始まった。

まずは肩幅より少し広く両足の間隔を開け、両手をおへソの下あたりにあて、重心を下にする。次は、口からゆっくり息を吐いて、一息もなくなったら5秒間息を止める。そして鼻からゆっくりと息を吸う、お腹を膨らませてから2秒間息を止める、そしてゆっくり吐く。5回練習した後、お腹だけを使う短音の発声訓練とンーア～(ハミング発声)の訓練も行った。

最後は、上手で聞きやすいスピーチのポイントが説明された。具体的には、結論から先にしゃべること、センテンスを短くすること、間を取りながらしゃべること、自分の経験を話すことなどが取り上げられた。

(2面に参加者の感想を掲載)

1995年1月17日 阪神・淡路大震災 あの日・あの時から30年 ひと・街・暮らし

1.17 長田メモリアルのつどい

2025年1月17日(金) 9:10～

長田区文化センター(東急プラザ)3階 大会議室にて

協会神戸支部も参加する「震災復興長田の会」は、阪神・淡路大震災から30年を迎える日に、メモリアルのつどいを開催します。

あの日から30年経ち、現在の長田の街はどうなっているのでしょうか。長田の街を歩きながら、震災復興のあり方を考え、参加者の思いや経験を交流します。ぜひご参加ください。

お申し込み・お問い合わせは、TEL 078-393-1807 事務局・呉(ゴ)まで

クリニックのコミュニケーション力UP講座 感想文

疲れと清々しさとともに感謝の気持ち

いきなりの腹式呼吸発声法で田村講師のトーク・コミュニケーションが始まりました。

丹田に手を当てておなかを使った呼吸を吐き出すことで一気に声帯を震わせて発声します。口を大きく縦方向に開いて5m先に自分の声をぶつけるつもりの大音声です。参加者に一人ひとり向き合っ真摯に指導されると、こちら必死に声を出さざるを得ません。普段の何倍もの音量を全員が教室内に響かせて終わりには疲れと清々しさとともに感謝の気持ちがわいてきました。

基礎の単音発生「あっ」「はっ」から始まり、歯切れよくはっきり発音するために「イウ」「キク」「パタカ」など大声で叫びました。また喉枯れにはハミング発声「ンーア〜」(閉口から開口へ)が効くことや肩、首に入った力を解緊することなど勉強になることが多くありました。

中でも関西人が苦手な鼻濁音は「が」なら「ソガ」と発音することを教わり関西以外の方ともスムーズに会話ができるコツがわかった気がしました。ありがとうございました。

【西宮市 山陰 圭一】

2月の研究会開催予告

なぜ人は依存症になるのか ～日常診療で見かける依存症～(仮)

日程 2月15日(土)17時30分～19時

会場 協会会議室

講師 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部 部長・薬物依存症センター センター長 松本 俊彦 先生

ZOOMによるオンライン参加申し込み

右の二次元コードもしくは下のアドレスからご登録をお願いします。

<https://x.gd/qqzTh>



自動返信メールでアクセス方法等をお知らせします。

来場お申込み・お問い合わせは、078-393-1807 小西・呉(ゴ)まで

健康と医療について語り合う会に20人参加

「自己触診」から乳房を意識する習慣を身に着ける



松の木先生(右奥)が乳がんを予防するためのポイントを参加者に紹介し、手話通訳者(右)が手話で伝えた

神戸支部は、11月28日(木)に健康と医療について語り合う会を神戸市婦人会館で開催し、20人が参加した。これは聴覚障害者らが医療や健康についての情報を学ぼうと定期的に開催する「聴覚障害者の医療を考える会(いのちを考える会)」の講師派遣の要請に応え、神戸支部が運営に協力しているもの。

芦屋市・あいかブレストクリニックの松の木アカヴィア愛香先生が「女性目線で確認する乳がんへの対応～知っておきたい最新の乳がん事情～」をテーマに講師を務めた。次号に参加者の感想を掲載予定。

神戸支部ニュースへの投稿を募集しています

ご投稿は

TEL078-393-1807 / FAX078-393-1820

e-mail konishi-s@doc-net.ne.jp へお寄せください!



支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。